

1. 件 名：日本原子力研究開発機構によるJMHL-78Y15T型に係る
ヒアリング（3）
2. 日 時：令和5年11月20日（月）13時30分～14時40分
3. 場 所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者：（※はTV会議システムによる出席）
原子力規制庁 原子力規制部 核燃料施設審査部門
松本企画調査官、日坂管理官補佐、甫出安全審査官※、山後安全審査官
日本原子力研究開発機構
大洗研究所 材料試験炉部 ホットラボ課 課長 他2名※
海外事業統括部 技術主席 他1名※
5. 自動文字起こし結果：別紙のとおり
音声認識ソフトによる自動文字起こしによるものであり、誤りを含む場合があります。
一部に不表示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。
6. その他：
【日本原子力研究開発機構からの配付資料】
資料 JMHL-78Y15T型核燃料輸送物の核燃料輸送物設計変更承認
申請に係るコメントへの回答について

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	それでは、これから原子力研究開発機構に、の設計変更承認申請に係るヒアリングを開始いたします。
0:00:09	まず発言の際には所属と氏名をお願いいたします。発言の際には、不開示情報は発言をしないように注意をしてください。
0:00:19	深井情報を発言してしまった場合には、この場でその旨の指摘をお願いいたします。
0:00:24	使用していないときは、のマイクについては入党にしておいてください。お願いします。
0:00:31	規制庁の佐藤です。本日数は、前回ヒアリングとかのコメントを受けてまた修正してきていてそれを資料まとめていただいているところなんですけれども、
0:00:45	長井委員を読んでいく、今この場で読んでいくと時間がかかってしまいますのでさあ、この点についてはこちらからの質疑で確認していくという形にしたいと考えています。
0:00:57	はよろしいでしょうか。
0:01:02	大原委員。
0:01:04	ホットラボですけれども、それでその進行で大丈夫です。
0:01:09	はい、わかりました。
0:01:11	規制庁サンゴですけれどもそれではですね。
0:01:15	汚泥さんの方からお願いいたします。はい、了解です。はい。規制庁のホデですけども。
0:01:24	ですね、資料、オクを置いていただいた。
0:01:31	コメントへの回答というところで、一番については、
0:01:41	要はあれですね、熱解析のところは温度差が下熱解析じゃない熱応力のところには、
0:01:49	径方向の温度ブックは変わらないから、要は特にそれで考慮しな。考慮する、考慮する必要はないとか答えは変わりませんということを、
0:02:00	記載いただいたというふうに認識しましたけどそれでよろしいですか。
0:02:06	はい。今の内容は添付1の内容でいろいろそうですそうです。はい間違いないです。大丈夫。はい。
0:02:15	藤。
0:02:19	添付1をこれに2を一旦かな、いつ等2で、これは経年変化のところあれですね、確認したにしたってということですね。はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:02:31	わかりました。今のにですね、失礼いたしました。
0:02:35	ですから、
0:02:37	その他のところは、先行するJMhr方とかJRC方とかに合わせて、一応、
0:02:48	その温度なやつ、有無のところについては、評価を見直しをしたというふう理解してますけどそれでよろしいですか。
0:02:59	大洗ホットラボです。
0:03:01	その通りでございます。はい、わかりました。
0:03:06	じゃあ、3番目へかな、次のページいきますね。
0:03:12	ええ。
0:03:13	と、3番目は、これあれですね、例の
0:03:19	とひずみ速度とかの、今回議論をしていただいたというところで、
0:03:26	添付2の方で、まとめていただいて、添付2の下位答えからいくと、2割程度から上昇すると。
0:03:39	いうところ所、2割程度から3割3割強ぐらいまで上昇するということが示されてて、かつ、
0:03:49	キャスクに発生する、キャスクが落下ら、
0:03:57	カーをする、落下衝撃を受けるときのひずみ速度というものは大体こんな、こんなものですっていうところを、一般的な文献で獲られて、
0:04:09	だから、増加は期待できますよというふうに理解しましたけども、趣旨はそういうことですよ。
0:04:20	はい。アライホットラボです。その通りでございます。であればですね、要はただ、
0:04:27	非常に細かい話ですけども、
0:04:32	読み方が足らなかったらその辺ちょっと指摘いただきたいと思うんですけども。
0:04:38	安全解析書の方は、
0:04:42	25%という値を記載いただいて、申請書の方、申請書じゃない今回お示しいただいた、
0:04:52	説明では2割2割程度からということですね。
0:04:57	であればね。
0:04:59	非常に細かい話ですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:05:02	2割5分っていうのは、本当に使えるかっていうことはちょっとお考えいただいた方がいいんじゃないかなと思うんですけどその辺はどのようにお考えでしょうか。
0:05:18	はい。大洗ホットラボですけれども、ですね申請書の方には、安全解析書の方では25%というふうに記載してありました。
0:05:30	で、今回のこちらのサンポ、添付2に入れてあります参考文献の、
0:05:39	1と、参考文献の方の2というところの文献の
0:05:46	内容を、
0:05:48	併記してアノし、
0:05:51	こちらの方は追加で、参考文献を追記するような形にしてその25%の記載についてはそのまま、
0:06:00	にしようかと考えております。以上です。
0:06:06	でも2割しか上がらない可能性はあるということを、この参考文献は示しているのではないですか。
0:06:19	ちょっと大洗ホットラボです。そうですね
0:06:26	それじゃ2割の方に記載の方を直すし、
0:06:32	直すべきかつ参考文献の方の追加という形に、うん。
0:06:38	古野。
0:06:39	はい。する方向で行こうかと考えます。わかりました。
0:06:44	ちなみになんですけれども、すいません。規制庁ホデですけども、
0:06:50	どう、
0:06:55	今回ね大体
0:06:58	教科書に出てるのが0。
0:07:00	ここのひずみ速度の話で、
0:07:03	このようなものキャスク重量物の落下っていうところで、これは
0:07:12	よくわかんないですけどコンクリート構造物の衝撃挙動っていうことで、何かそういう例で、いろんな一般構造物のものに対して考えてあるんですけども、
0:07:22	この間に、
0:07:25	この輸送物、
0:07:27	が落下した時のひずみ速度として、ここで考えてよいということは何か確認されましたか。
0:07:49	衛藤アライホットラボですけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:07:56	3 添付 2 のところの 2 ページ目のところに参考文献 2 というところでは ぼ
0:08:04	あり、記載があります表の上のところ以最下層と速度っていうところとあ とその 2 個下のところニズミ速度というところがありましてで、
0:08:22	そちらの速度のところから、
0:08:26	うん。に関しては、添付 1ー添付 2 の、うん。ていうか、実際に
0:08:35	この辺の障壁のね、何か専門の方にでもちょっとご確認され、されてる のかどうかってのはちょっとあれなんですけども、ひずみ速度の考え方 でどう考えたから、要は、
0:08:48	この、このグラフで、こういうふうな関連事象のここに書かれてるやつ、 範囲に入ってるんだねと。
0:08:57	いうふうなことが確認でき、
0:09:00	確認されてるって実際この数値なんかこう書いていただいていますけど も、
0:09:08	この辺はどうなんですかね。例えば、
0:09:13	垂直落下したときにどうに発生する、例えば衝撃力とか、そういうものと かを踏まえてですね、そのときに大体こんなもんやねと。
0:09:25	いうふうな、やっぱりそういう確認が必要ではないかと考えるんですけど その辺いかがですか。
0:09:34	はい。荒井双葉ですけれども。すいません専門
0:09:40	分野の方というかそちらの確認に関してはすいませんまだそこまでは至 っておりません。
0:09:52	機構内の方でそちらの専門というか、詳しい方、確認して、それが妥当 かどうかというところで、確認いたします。
0:10:04	はい。
0:10:07	もともとね、25%というのも何かのある実験に基づいて説明されてると いうことなんで、当たらずしも遠からずというところ。
0:10:18	というふうにはこちらも考えております。
0:10:22	ただ今回、バンドが出てきたということと、昆このようなものだというこ と、このキャスクの重量とかですね
0:10:34	落下したときの例えば変形量とか、そういうも変形量とか、実際に応答 強度、時間というのは、何かある程度計算は
0:10:46	できるんじゃないかなとも思いますので、その辺を踏まえて
0:10:52	今回ね、お示しいただいたことが、当然、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:10:58	ここのキャスクでも大体、
0:11:00	今回の申請対象のこの輸送物でも当てはまるという一言は、必要になってくるんじゃないかなと思うんですね。ですから、その一言が、書けるような形で、
0:11:12	ちょっと裏取りをしていただければと思います。
0:11:18	はい、大洗ホットラボです。承知いたしました。
0:11:23	はい。それであれば、幅がこうだということとレンジがね外れてないということであれば、
0:11:31	そ、そこまで確認された上でこう考えたということであれば、ロジックとしてはそんなおかしくないかなと考えてますので、その辺の確認をよろしくお願いします。
0:11:44	だから申請書をこう直してくださいというふうなところまではこちらは申し上げませんから、そこを確認できて、確認、
0:11:54	確認された上で、次のステップと、次のステップということで、していただければ良いのかなと思います。
0:12:04	よろしいですかね。
0:12:07	はい。小針ホットラボです。大丈夫ですよろしく申し上げます。わかりました。
0:12:13	ちょっと待って。次どれやったこっちか。あれ、これか。
0:12:17	3番目ですよね今のね
0:12:25	ここは、
0:12:27	支持構造物っていうものがその該当とか何とかだっという説明をちゃんと加えていただいて、これが健全であることによって大丈夫だよということを、
0:12:38	申請書でわかるように、を示していただけるというふうに理解しましたけどもそれでよろしいですか。
0:12:48	お笑いホットラボです。はい。その通りでございます。はい、じゃあこれはもうメリットということで、よろしく願いいたします。
0:12:59	5番目なんですけども、これはちょっとよくわかんなかったんですけど、
0:13:06	デュポン社のレポートとかが、
0:13:10	あれ何語ですかねフランス語なのかイタリア語なのかよくわかんなかったんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:13:17	これが短期だとか、どのように読んだらいいのちよつとわかんなかったんで、ちよつとその辺のご説明いただきたいと思うんですけども、いかがですか。
0:13:31	はい小原ホツラボですけども、
0:13:36	ですね。
0:13:37	ユキハヤシ、
0:13:39	アのところ、
0:13:44	と、
0:13:46	参考文献 20 というところ、1 ページ目のところに赤、
0:13:54	囲みをしてますところで ■■■■■ というところこちら、
0:14:03	申請書の方の添付 4 のところの 1 ページ目のところに戻っていただきますと、ボーリングの ■■■■■ の最高使用温度、1 週間というところで ■■■■■
0:14:16	というところ。
0:14:18	が、記載してありますのでそちらの温度に対して使用可能な、
0:14:26	近藤。
0:14:27	範囲の中の、
0:14:30	リングの性能というか、最高温度が ■■■■■
0:14:37	使える。これ、これが菅喜田っていうのはどのように読んだらいいんですか。
0:14:42	例えば、これ確か、最高使用可能温度 ■■■ とかなんかで、対火災時に ■■■■ っていうことを、
0:14:54	確か、本文の方に記載がされてるというふうに理解しているんですけども、理解が間違っているのであればちよつと逆に指摘いただければと思うんですが。
0:15:07	ですから、それと全部繋がってないといけませんよねで、いきなり、先ほど言いましたように、
0:15:18	これ本当イタリア語なんですかね多分ねよくわかんないですけど、
0:15:26	少なくとも、
0:15:28	機構側で、
0:15:31	この文献が、この文献なりこれはテクニカルシートか何かだと思うんですけども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。
- ※ 3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:15:40	これをもってこれにはこういうことが書かれているんで、例えば、短期の温度でこうこうですっていうことがあって、この該当するところはここですよというところを、
0:15:54	が、何かそういう説明じゃないといきなりこれが出てきて、なんじゃこりやなってくるような方ちいだと思うんで、ちょっとその辺の説明がどうなってるかっていうところをちょっと整理。
0:16:07	していただければ、もう要はこのような製品があるということは理解しましたので、あとはもう、言い方だけだと思うんですね。
0:16:17	ですからちょっとその辺で、本文に書かれてることが、ここの、何をもちょう読めるのかっていうことをちょっと
0:16:26	それは
0:16:28	補正だ補正のところでも結構ですけども、それを
0:16:33	追加していただきたいなと思います。
0:16:39	■■■■はどっから呼んだらいいんですかで、であれば、
0:16:44	■■■■でしたよねこれ。
0:16:50	お笑いを取った分です。
0:16:53	■■■■の方が■■■■となっております。
0:16:58	これ■■■■でしょこの材料。
0:17:02	今のは、
0:17:04	すいません今のあれですか。
0:17:06	材料だから言っちゃいけないのかな。
0:17:11	松木麻生ですねシマ
0:17:13	だからこの、この材料について
0:17:20	説明があるのであれば、
0:17:22	どう、
0:17:24	長期の使用ん時にこれこれはこういうふうなものにのっってます。短期のやつにはここのレポートのこういうふうに書いてます。
0:17:33	これ、これについて、生薬なり、生薬ほどの大きさなもんじゃないけども、こういうメーカーのものを使うこととしており、例えばですね。
0:17:43	ここのこの、これは短期の何とかであるからってというような説明になるかと思うんですけども、
0:17:52	要は、そうじゃないとこれ見ていきなり、要はあんまり、どうですかね、地下若くない言語で書かれてるもん見ても、
0:18:02	非常にこまこちも困るなということで、この文献をなり、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:18:10	その機構としてある理解をされてここに添付されたと思うんですけども、
0:18:17	そこがちゃんとわかるようにしていただく必要があるんじゃないかなと思います。
0:18:26	大洗ホットラボです。承知しましたこちらの文系の方にこの塩川の温度の方は除くような説明の方、
0:18:37	地域セキというか、
0:18:40	整理し、いたします。
0:18:44	だから、
0:18:45	この材料で、
0:18:48	ここでこれ、どこだ、ろ紙をB-1の、
0:18:52	ところ、今回も添付いただけてますけども、このような形のもので追記したいということをお示しいただけてますけども、
0:19:04	ここで、
0:19:06	要はここ 20 番であれば、
0:19:09	20 番という番号を振っていただいて、それが参考文献に飛ぶような形で記載されてて、それであれば、■■■■んなり
0:19:21	この■■■■なりというところが、
0:19:28	が、この文献見たらわかるような形で、その通りなんだねということで、ちょっとお願いしたいと思います。
0:19:41	よろしいですか。はい、将来ホットラボです。承知しました。はい。
0:19:46	あとは
0:19:49	と、この
0:19:55	倍じゃない、いすこの
0:19:59	塗布凄んあ、これもあれか。
0:20:01	もう一つのリングの方の話なんですけれども、
0:20:06	等、
0:20:09	なんかよく、
0:20:12	ここの説明を見て、
0:20:14	あんまりよくわからないんですけども。
0:20:18	これは、
0:20:20	これは長期とか短期とか書いてないんですけども、それはもともと書いてないんですけども、
0:20:28	どう理解したらいいんですかね、で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:20:30	要はここに書いてあるさ、この温度と、どうですかね。
0:20:38	ところのカタログならカタログに書かれている温度というところの幅も若干違います。
0:20:45	違うというところも、
0:20:46	あると思うんですね。
0:20:51	要はこれを使って一応、設計としてはこう考えてますよということなのか、ここは要はこの機構として使う材料はこれだからというのであれば、
0:21:03	逆にここが一致してないといけないと思うし、
0:21:06	と思うんです。であれば、ここに書かれている、温度かなあというふうに思う。
0:21:13	おい、思えるんですけども、その辺はいかがですか。
0:21:26	はい。
0:21:26	はい。お笑いホットラボですけども
0:21:29	をですね
0:21:32	括弧Bの方の台数のCO温度につきましては、す。
0:21:43	実際に今、カタログつけてるところの、
0:21:48	水量の
0:21:50	温度範囲というところで、 XXXXXXXXXX というところの、神野汐香の
0:21:58	温度の範囲のところでは使えるのでこちらの
0:22:02	材料であればっていうところで、
0:22:05	実際その記載が、その XXXXXXXXXX ぴったりっていうふうな形の、
0:22:11	実際のボーリングっていうのはちょっとなかなか、
0:22:15	探し切れなかったというところなのでそれ以上の温度であれば大丈夫であろうというところでの、
0:22:25	判断でこちらの記載の記載というか、そちらのOリングであれば使えるだろうというところでの
0:22:35	理解はいたしますけども、というか、今まで、
0:22:43	これはずっともう何年も前に、せた設計されて製造された容器だと思うんですけども、
0:22:51	その場合ね、じゃあ、
0:22:57	その温度のものに対して、だから実際これで購入、こういう材料購入されてんのかそれ、それともそれまで、何か、
0:23:08	その値がその製造者のね、
0:23:12	ものを購入されてるのかちょっとわかんないですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:23:18	だから、
0:23:19	常にこのカタログのものを購入されているのか、その辺もちょっとあるんですけれども、要はこの、この今回示していただいた会社のCatalog呉でこうなってるんだけれどもというところで、
0:23:35	そもそもくろみとして全然違ったり、今後これどうなってるかっていう方をどうするかっていうこの会社、この、そのメーカーから購入されるのかっていうのはちょっとわかんないんですけれども、
0:23:50	その辺を踏まえて、
0:23:53	こうされるんだったら、この温度書いてあればいいと思いますし、
0:23:57	思うんですね。
0:24:00	スカラー
0:24:01	合わすんだったら合わせておいた方、
0:24:04	合わせておくべきではないんですかね。
0:24:13	ここで付けたら、例えばね、物、物を購入するときに、こうですよということで、
0:24:20	これを、これを直接今の安全解析書に添付されると。
0:24:26	美人。
0:24:28	高いからいいじゃないのっていうことで
0:24:31	何に対して
0:24:34	その今書かれてる温度になってんのかっていうのがちょっとわかんないんですよね。
0:24:48	すいません。アライホットラボソウノキムラですけども、小低倍LTOっていう資料の中の(1)の部分にですね参考文献示す材料は相当品とするっていう記載を
0:25:03	書かせていただいております。これによってですね今回最高使用温度に対して耐えられるものを今カタログとしてつけさせていただいておりますので、
0:25:15	それと同じようにこの最高使用温度に耐えられるような材質、耐えられるような製品をもって充てるっていうところでこういう記載とさせていただき、はい。
0:25:28	はい。わかりました。
0:25:34	衛藤規制庁のサンゴですけども、この世キーフすでに運用されているものだと思うんですけども、メンテナンスの際に、継続購入してるリングっていうのが、もう何か主

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:25:50	何ていうんすかねし、してというか、これを変えて付け直せば良いっていうように決めてあると思うんですけども、そちらは決まってますよね。
0:26:07	なんか大体メーカーの品番何々を新しく買い直してつければいいというように、
0:26:13	決めてあると思うんですけども、それはどういうふうになってるんでしょうか。
0:26:20	はい。
0:26:33	大洗ホットラボですけれども、ですね最近というか直近でのこちらの輸送容器を使つての輸送は
0:26:44	なかったの定期検の時に、
0:26:49	定期自主検査の際にはそのボーリング等の劣化状況とか確認しながら漏えい検査とかやって入ってその
0:26:59	実際に漏えい検査やっていった中でも特に
0:27:07	検査の基準から外れることはなかったの最近購入というか、
0:27:15	ボーリングの購入関係はしていなかった。
0:27:18	いなくて実際にその今、指摘のあった、こういう
0:27:23	品番のものを買いなさいっていうところはすいませんちょっと今の、
0:27:29	状況、今、今の現状ではちょっと、
0:27:32	わかりかねるのでちょっと後で調べさせていただきます。
0:27:37	規制庁サンゴですけれども、
0:27:43	最近のメンテナンスでは交換する必要がなかったというようなことであるっていうのはわかりました。で、
0:27:50	そう設計をして、製造して使ってるっていう、高頻度に大きく交換しなければいけないとか購入しなければいけないって言った時には、
0:28:01	必ずズー、何を買ったか、そこまで書いてないかもしれない、決まりがあつてそれを買つてつけてるパターンなんですね。
0:28:12	今、
0:28:15	もともとは、
0:28:18	改めて安全解析書を確認したときに、
0:28:22	この材質は、この温度データやれる仕様に変えるものなんでやろうかと、それ一濃紺強つていうのは何かあるんじゃないかと。
0:28:33	で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたので、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:28:34	通常であればメーカーがどういう使用状況でも問題ないからこれは使えるものだっていうような確認をしているであろうことから、カタログ等で示せばいいんじゃないかというふうに進んでいるところなんですけども、
0:28:48	その真意は、
0:28:51	世の中にあるカタログを持ってこいということではなくて、今使ってるリングの仕様を確認して、それをカタログに書いてあればカタログを示せばいいでしょうし、
0:29:05	カタログを発行してない製造メーカーとかであれば、
0:29:09	メーカーとしてそういうふうに保証をしてるものなのかどうか。
0:29:15	いうことを確認したし、すればいいんじゃないかなと思うんですけども。
0:29:27	はい。大洗ホットラボかです。
0:29:34	し、
0:29:35	最初の製作時の時にボーリングの根拠というかカタログ関係、どのようなものを使え、使っていたか、使うかっていうところの確認は、
0:29:46	これからしていきます。
0:29:50	あの、別に一番最初でなくてもですね直近D買った方リング呉がきちんと仕様満たされて交換されてるはずなので、そのリングについて、カタログがあればそのカタログで示せばいいでしょうし、
0:30:05	ていうところだと思うんですけども別に、一番最初にこだわる必要はないと思います。
0:30:10	確認はちょっとお願いいたします。
0:30:14	私からは以上です。
0:30:20	は、規制庁ホデですけども、今スタッフ審査官がちょっとお話しした通りのところでちょっと確認していただきたいと思います。
0:30:33	要はあと、カタログな、カタログということでもいいんですけども、ちょっとそのカタログそのままつか、確認というかあれすると、
0:30:46	ちょっと下の方の温度が ■■■ になってるんですよこれね、そこはちょっと、ちょっと気になりました。
0:30:54	少なくともマイナス 20 度で使えるという話とそのカタログとちょっと繋がってこないなという感じはしますので、
0:31:02	その辺も、要はその、当然その常用で使う時にこうですよということでカタログっていうのは作られて、製造者の意図としてね、あるのかもしれないんで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:31:14	その辺は、要は、
0:31:18	引っ張ってくるにしても、誤解を招かないような形で確認いただきたいと思います。
0:31:25	等、私の方は、とりあえず、このリングの方はちょっとそういうことで次に進めたいと思いますけどよ。
0:31:36	とサンゴさん、西坂さんよろしいですかつ続けてやって、
0:31:41	次、ナンバー6、移行してください、どうぞ。
0:31:57	ちょっと待ってよ。ですけども、大田さん続けてお願いします。はい、わかりました。
0:32:05	ちょっと待っていると、どれだ。
0:32:07	これか。6 ですよ。はい。
0:32:17	後ですよ。6 は結構ですこれで
0:32:23	7 番なんですけどね、ちょっとこれはちょっと、
0:32:32	7 番は、
0:32:35	この
0:32:37	添付 5 にお示しいただいたところの意図がねあんまりちょっと掴めなかったんですけども、
0:32:44	等、
0:32:46	ちょっとこの下の図は概念図の、
0:32:50	おつもりで記載、
0:32:55	800 度って書いてあるところっていうのは、これより内側が 800 度っていう意味合いで書かれたんですかこれはどういう意味合いなんですかちょっと教えていただけますか。
0:33:10	アライホットラボですけども 800 増と記載してあるのは
0:33:17	オオキのうち、
0:33:18	周囲周囲の温度、
0:33:21	うん。そちらの方 800 クドウとアノとなると、要は 5、
0:33:27	すいません規制庁の方ですけども、
0:33:31	5 回を招いてしまうんじゃないかなと思うんですね。で、
0:33:38	パッと見てあれとこちらでちょっと思ったのは、管遮断ところを、光南落下なり、傾斜落下なりの変形をイメージされてちょっと
0:33:50	方が、
0:33:51	ちょっと欠損させたような図を書いていたんですけども、
0:33:56	要はこの欠損した表面まで 800 度なんですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:34:00	だから、こういうイメージで、この間は、要は別の空気層があつてっていうことではないと思うんですね。
0:34:12	そういうふうにとちょっと、
0:34:14	5回位してしまうように思うんですけど。
0:34:18	それとも、今申し上げた通り、中が空気だからという意味合いでこの図は書かれたんですかね。
0:34:25	そこはどうですか。
0:34:29	ハウライ、堀田ラボですけれども、
0:34:32	とですね
0:34:34	欠損したところも表面っていうところが800度っていうちょっとすいません認識がなくてですね。
0:34:42	実際に特別の試験条件のところへこんだ状態の方、
0:34:51	オンダ状態を無視して毎オオキが、現状の状態税のエラーの評価になっているというところの説明に対してのす。
0:35:01	ちょっと、
0:35:06	考え方というかこういう周囲の温度の
0:35:12	定義というかそちらがちょっとすいません私の方で認識がちょっと間違っていたというところだと思い、
0:35:20	すいません規制庁の方ですけども、
0:35:25	本来であればね、
0:35:30	どうなんかな、ある程度、今の、多分いろいろ、
0:35:36	既コースの方でもいろいろ確認をされてると思う。
0:35:43	思っているんですけども、
0:35:46	やはり落下のときには、落下の変形は考慮した、解析っていうのはほとんどで、
0:35:55	このような言い方のもの。
0:35:59	と、
0:36:00	の、
0:36:01	そういう設計で、このような言い方をしたものでなかなか見つけるの難しいというのが正直なところなんです。
0:36:08	で、そういうことも踏まえてそういう背景でこのような、ちょっと確認をさせていただいている。
0:36:19	わけなんですけれども、
0:36:24	前もお話した通りですね、1通のヒントとしては、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:36:31	そこがすぐこちらから
0:36:33	こちらではどう、どうなのかなというふうな、
0:36:37	ことを考えてみると、
0:36:42	一つには、
0:36:44	例えば、
0:36:46	先回も申し上げたかもしれませんが、例えば、
0:36:52	格納容器の蓋の部分の、来年の温度とか、
0:36:57	ていうのは、相当な時間遅れ、
0:37:02	密封密封容器でしたっけね、密封容器のリングの温度については、もうかなりべたべたに実際、
0:37:13	800度の雰囲気にした後、こもってるような形で評価されてると。
0:37:20	いうふうに認識をしたんですけれども、
0:37:24	だからどういうことかという、むしろ、直接入ってくるものより周囲から温められて、緩衝体の変形とか何と、
0:37:36	とか何とかっていうことで、直接入ってくるものよりも、ここをずっと断熱にしての方が、モデルとしては、厳しめの評価になる。
0:37:48	いんではないかなというふうにもちょっと読めるわけですよ。
0:37:53	ですから、それはもう考え方としては、今言ったことはこちらが、として、こういう挙動なのかなと、あくまでも推定の域でしかないんですけれども、
0:38:06	そのような見方で、例えば、むしろ、入熱は直接、格納容器の表面から入ってきて緩衝体は、
0:38:18	今書かれている通りだね剤ですよ。
0:38:22	断熱機能を持ってますよということと、
0:38:26	あと木炭の熱伝導率はこれこれですよっていう数値記載いただいでるんですけども、これは何か確認された数値等を確認されてるということですのでよろしいですか。
0:38:44	アライホットラボですけれども、こちらの数字は、実際にそのね、インターネットとかでの
0:38:54	の範囲ではあるんですけれども、そちらの
0:38:58	これ、これは
0:39:02	ほとんど変わらないって書いてあるんですけど、ほとんど変わらないんですか何か書くこれは確認取られましたか。
0:39:12	はい

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:39:13	とですね
0:39:15	輸送容器のこちらのネットで調べたということ、鹿庭こちらの設計、
0:39:24	する際に、メーカーの方で示し、
0:39:31	いただいたナカ参考資料の中にそのような記載があって、
0:39:36	たので、
0:39:39	ちょっとそちらの方を、
0:39:42	記載はしてます。
0:39:46	で、
0:39:46	実際に
0:39:50	と、あとは、
0:39:52	計算したけ。
0:39:54	が要は、
0:40:02	緩衝体のところの温度っていうのは、木炭になるほど温度上がっている んですかねその辺は何か確認取られました。
0:40:20	あ、大洗ポートの分で市町村松葉、はい。
0:40:27	えっとですね炉装備のところの、
0:40:34	B-2 のところで、 XXXXXXXXXX のすみません、今の発言はちょっと
0:40:41	いいですよはいはい。
0:40:43	ロビーの何ページですかねブツカいてあるところですかね。どの炉のP -5 っていうところで、炉伸び代B目標のところの、
0:40:55	上のダイダイB6 票。うん。
0:41:03	第B6 表で、
0:41:06	だから、
0:41:10	これもよくわかんないんですねこの図見てももう今更この解析をどうだこ うだって言うつもりもないんですけど、ここ、
0:41:16	はい。
0:41:19	いわゆる木材のところ、1 個飲んでポツと書いてあるっていうのは何 なんだろうと思うんですけども、
0:41:26	こういうふうな、
0:41:32	ここはこういう温度で、全然動かないっていう、しかも、
0:41:38	なんですかねこれは、
0:41:40	練習切っていないということですかということなの。
0:41:45	一応こちらのレポートのところの中では 800 度より、
0:41:50	赤い線、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:41:52	先祖っていうところで 50、
0:41:59	いやこのなんかすごい温度部温度差つきますよね多分ね。
0:42:02	温度差つくっていうか、おそらくですけども、表面は相当上がって、
0:42:08	急騰してほとんどナカの方は温度が上がってないっていうふうなことじゃないかなと思うんですけども。
0:42:33	ここに実際に、それともこういうふうなこうバサツとこう書かれてるっていうことは、
0:42:42	あれですかね、
0:42:47	木材木材でモデル化してあるんですかね。
0:42:50	一つは、
0:42:53	例えば、熱がこもるような形で考えてるのであれば、
0:43:00	一つの考え方ですよあくまでも、こちらも設計したわけではないので、
0:43:05	この
0:43:06	この図を見る範囲で
0:43:09	ちょっと考えて、そういう説明をしているのかどうかちょっとあるんですけども。
0:43:17	ここ空気に置き換えてるとかっていうことではないんですかこれ、もしかしたら、
0:43:24	空気に置き換えてしかも大量も考えませんよっていうことではないんですか。
0:43:29	そういうふうになってません。これ、もしかして、
0:44:10	お笑いホットラボですけども等ですね、 XXXXXXXXXX
0:44:14	や招待のところのその試験内容についてちょっと
0:44:24	再度確認いたします。うん。
0:44:28	あれなんですけども、考え方としてね。
0:44:33	先ほど言ったことが、
0:44:36	ということかなという、ちょっとす。
0:44:38	推定のキーだつう先ほど申し上げましたけども、
0:44:42	一つの考え方としては、この評価と、例えば、
0:44:51	この
0:44:53	ろ初代Bは地図ありますよね。
0:44:58	要は時刻歴を書いていたいて、
0:45:02	とにかく、
0:45:07	直接外面とか内面とかっていうところはあれなんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:45:14	時間、
0:45:17	大体は上がって落ちてくるんですけどとにかく中の方の温度とか、要はその積まれたところっていうのはすごい。
0:45:26	要は、逆に言うところのモデルって、すごい断熱通機能ついたらおかしいけども、
0:45:32	外から熱は入ってくるけども伝わりが非常に遅い。
0:45:38	で、どういうことかっつうと、結局、
0:45:41	どちらに着目したって、
0:45:43	いうことであれば、例えばその入熱通云々よりも、その入ってくる熱をいかに逃さないかという観点で、こちらの方が厳しいですよとかですね。
0:45:55	す。
0:45:57	今度は一つの予想ですけども、そういうふうなことで、
0:46:01	例えばA、
0:46:02	ここで
0:46:04	何が、その緩衝体をどうモデル化するというで、何の評価が妥当かっていうと、それ蓋のリングのところの温度なんですよこれ。
0:46:15	だからそこを評価する上で、こちらの方が厳しいですよということと、全体の、例えば、
0:46:27	挙動を踏まえて、
0:46:30	挙動を踏まえてとにかく全部遅れで出ると。
0:46:33	密封容器のOリングは確か 12 時間後とかってというような結果になってたように記憶しますけども、
0:46:43	ですから、その辺の方で一応こういう形でやったということで、別添で別添というか参考資料で、一応、特別の試験条件で、こので実際にその
0:46:56	書かれて、今安全解析所の本部は、要は断熱効果云々というふうなこと書かれてるんですけども、
0:47:04	こうしたことが後付みたいな形になるかもしれませんが今回の結果から、それを考察して、それで妥当だというふうな、
0:47:15	一つの説明の仕方もあるんじゃないかなと考えます。
0:47:19	だから、
0:47:21	真面目に真面目に言ったらちょっと語弊がありますけどもその変形を、
0:47:27	重畳させるような形でいろんな落下姿勢を重畳させて、簡素化ちっちゃくした上で評価するのが保守側なのか。
0:47:36	とにかく小村して、厚くなるのが妥当なのかというところを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:47:41	もう、この段階ですいろいろな今までの使用の実績もあるということも踏まえると、
0:47:48	問題が起きてるということもないと考えるので、その辺で
0:47:57	この先ほど一言断熱効果云々っていうことの本文ではなくて、そこで実際にということで、例えば、
0:48:10	そもそも仮定をしたということでこの仮定の妥当性についてということで、1枚もんで点プーじゃないは附属書類ね。
0:48:19	ロビーの例えば、6とか7なんのかわかんないですけども、そこに
0:48:26	この結果を踏まえた何か考察を入れて、この考え方出たということが各正しいということが確認できたというふうなね、結論で何かまとめるようなこともちょっとお考えいただければと思います。
0:48:42	計算やれっていうのは非常にあれなんですけれども、それで、ただこの容器から見ると、確かに断熱効果が非常に高いというのも、わかりますので、
0:48:53	その辺、この結論に至ってこの解析が妥当だということが、繋がるような形で、なにがし補足の補足なり追加の説明をしていただければもういいのではないかなと考えます。以上です。
0:49:15	青アライホットラボです。承知しましたよ。
0:49:20	お願いします。
0:49:24	もう今、今までこの解析でということでこの解析で、これまで問題が起きてるということではないので、
0:49:33	そこをもう今更否定するということはシマシ、
0:49:41	いたしません、とにかく、要は木曾空では、一応、当然、
0:49:50	外運搬とか、外運搬の告示に書かれてる通り、
0:49:57	特別の試験条件っていうんでその強度試験に元に影響した輸送物を耐火試験にオク。
0:50:08	あらかじめそういう強度試験に置いたというものを高石に置くということがありますので、そこと当然、
0:50:17	考慮してないというところであるならば、そこになにがしのロジックの説明が必要だと思いますので、その説明が、
0:50:27	その説明を追加することで、十分にそういうことも踏まえた上で対応しているんだということがわかるような形でまとめていただければと思います。
0:50:39	よろしいですかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:50:44	はい。アライホットラボです。はい。はい。大丈夫です。はい。よろしくお願いします。
0:50:50	次は、ちょっと待ってどれだ。ごめんなさい。
0:50:55	これか。
0:50:58	IIぎは見、
0:51:01	ふう。
0:51:02	になるのかな、ちょっと。
0:51:05	ちょっとすみませんね。
0:51:11	で、
0:51:12	文系は大丈夫ですね。
0:51:16	8番は文献の不要なのがあるんじゃないですかっていうことをお聞きしたん。
0:51:21	やつですねこれは。
0:51:25	はい小原セト安保です。文献不要のやつに関してはそうですね
0:51:32	新旧とかを見ながら、やつをどんどん残っているものは削っていく、行こうと。はい。はい、わかりました。
0:51:44	頭アノ中でね、その修正してあげたいってちょっと目ねだったのでもっと申し上げたんですけども、あの中でまだ要はこの
0:51:56	この輸送物が設計されたときからずっと後のやつが、文献でまだ要は旧JNESのね、
0:52:03	原子力安全基盤機構の論残ってるんですが、
0:52:09	ちょっとすみません参考に教えていただき、それぞれ、どこに使われていますか。
0:52:21	終わりホットラボですけれども、すみません。中性子遮へい材じゃなくてもいい以外のやつで、いや、はい。
0:52:29	確かまだ、
0:52:34	例えば、今回の説明資料の中で、何かをし、お示しいただいてたように思ったんですけども、
0:52:44	Head江田亜子かえっと、
0:52:50	(3)の参考文献のところですーっというって、
0:52:55	例えば、
0:52:58	10番、15番欠番にされたってのはこの間、この間のトレイの中正社員の話だと思ったんですけども、
0:53:10	16番がこれはまだニューテックの時代のレポートですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:53:15	これは、
0:53:18	金属キャスク貯蔵技術確証試験の何を使わ何を何の参考で、これは何をさ、これは、失礼しました。
0:53:31	何を説明されるための3個。
0:53:34	为什么呢か。
0:53:36	オカ、ここん。
0:53:38	16番から18番までありますよね。
0:53:43	で、19番これいないですね。
0:53:46	ユキバサーマルビヘイビア分ニュートロンシールドングマテリアルでこれまで残ってますね、これ。
0:53:54	16以降を超え、
0:53:56	必要なんですかねこれ。
0:54:12	アライホットラボですけれども、ですね、ちょっと確認します。15のところに関しては先ほど
0:54:23	いただいた、まとめていただいた通り中性子遮へい材の内容が記載してある内容
0:54:31	同様に
0:54:33	消し忘れなのか、ちょっと確認して、同様に、このような欠番という記載以来のものであれば欠番という記載にしようと考えてます。そうすると、恐らくは、
0:54:45	例えばこれ金属ガスカートとかね、そういうもので、しかも熱のところどころでこう上がってるってことから見るとね、そういうふうな、
0:54:55	腎臓が助ガスカートとか、いわゆるここで書かれてる。
0:55:00	金属キャスクの構成部品で、
0:55:06	鑄造技術の上で必要なものというふうなところになってきますので、恐らくはこれは不要ではないかなと思うので、ちょっともう一度これ確認いただきたいと思います19番不要です。
0:55:20	明らかに、
0:55:25	はい、大洗ホットラボです。すいません再度見直します。
0:55:33	よろしく申し上げます。
0:55:35	次が、ちょっと待ってよ。どれだ。
0:55:43	と、
0:55:48	すいませんちょっとまたして申しわけないです。
0:55:51	これか。これじゃねえや。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:55:55	これから、
0:55:58	これからごめんなさい。
0:56:06	あれ。
0:56:07	ちょっと申し訳ないです。ちょっと時間を取らせて、
0:56:14	これかな。はい。
0:56:20	と適正かというところで、
0:56:32	9番はいいですね。はい。10番は、
0:56:42	これは先ほどの支持構造物の話ですね。はい。
0:56:48	説明に、先ほどNo. 4で説明いただいたことと整合がとれる記載で、 なっていれば問題ないと考えます。
0:56:59	月井は、
0:57:07	17番は、11番はもう、これは今やっていただいていることをこう書いて実 際に
0:57:18	輸送物を仕立てるときの手順を、それを落としていただければ良いとい うことで構わないと思います。
0:57:28	12番は前回のやつで終わりということで、
0:57:33	13番は、
0:57:37	と。
0:57:41	これは、
0:57:44	これはそれぞれ、
0:57:47	特にそんな具体的な説明まではあんまり求めてなかったように先回の 面談の時でも、申し上げたような形で、
0:57:58	どちらかと確認だったと思います。
0:58:02	要はあれですよ。要はその
0:58:06	要はそうかとか何とかする、例えばグローブボックスとかセルセルって いうんですかねセルの中の、要はそこに浮遊してるものが、容器の中で トラップされて、
0:58:17	それ、その濃度とか何とかをベースにして評価してますというふうに理 解したんですけどそ。
0:58:23	それで間違いないですよ。
0:58:26	アライホットラボです。その通りです。はい、わかりました。
0:58:34	随分具体的な説明があるんですけども実際にそこ、
0:58:40	書いてあることできっちり本部の方に厚くなるようであれば、附属書類の ような形で

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:58:48	どこまで添付されるかということも、
0:58:53	ご検討いただければいいと思います。内容としては、クローズということで問題ないと思います。
0:59:02	14番は、特にここもあれなんですけども、
0:59:08	結局は、
0:59:09	トータルの数の中でそれぞれの、
0:59:14	全部の粉末がいてそれを、
0:59:20	そのうちの何%がいて、それに対してその対象とする核種の比放射能なり何なりかけてやりましたっていうことでよろしいわけですよこれは。
0:59:33	アライホットラボです。はい。その通りでございます。
0:59:41	ちょっともうそれはもう今までこの説明で、
0:59:44	問題ないと思いますし、大きな問題が出てくるとは思わないんですけれども、
0:59:57	その
0:59:58	どうだってあんまり申請書に直していただく必要はないんですけども、
1:00:03	本ほんとに前からちょっと思ってたんですけども、その
1:00:07	酸化プルトニウムと他のやつと粒子が一緒やとか何とかってことは、
1:00:14	それで問題ないんですかね。
1:00:17	考え方として、
1:00:24	アライホットラボです、ないと考えてます。
1:00:28	何か粒子とか何とかで、同じような、例えば来聞いてくるのでにくさとか何とかって粘性係数等粒の大きさだと思ってるんですけども、
1:00:39	そ、その辺が大体同じやというような書き方で、対処するものの、例えばパーティクルのパーティクルで大体同じようなレベルだというふうな、
1:00:49	こんなのか、それとも用プールの粉末が非常にちっちゃくてね、
1:00:55	単純に原子量からいくと、プルトニウムが大きいですけども、そういう問題ではないよと、いうふうに考えてよろしいですかね。
1:01:07	forアライホットラボです。はい。その考えで、
1:01:11	大丈夫です。
1:01:12	はい。わかりました。
1:01:16	ここはこういう形で構わないと思います。
1:01:26	部、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:01:27	臨界のやつは
1:01:30	と。
1:01:31	国庫はちょっと待ってよくない。
1:01:38	これは、特に、
1:01:40	今の回答は前回の下面、
1:01:44	で代表としたやつっていうのはちょっと、
1:01:46	どうなってよ。
1:01:48	ちょっと読んでて、
1:01:50	何かサイズがちっちゃいようなこと書いてあったような気がちょっとしたんですけども。
1:01:54	どれだ。
1:01:56	これか。
1:02:17	と、
1:02:31	はいはい。
1:02:34	要は他のやつについては、
1:02:40	今のサイズで棒を考慮したときに、冒頭核燃料物質を考慮したときに、それよりもサイズがちっちゃくなる。
1:02:52	最後のちっちゃい細い棒になっちゃうんで、これは評価に至らないと、いうふうに理解したんですけどそういう理解ですかこれは。
1:03:08	終わらすとラボです。
1:03:10	はいその通りです。
1:03:13	添付の 6 表のところの最小値、
1:03:18	最小臨界値、
1:03:20	を超えるものっていうのは、
1:03:23	F1 以外にはないというところで、
1:03:28	その辺の明確になるように申請書の方に、一応これをやったっていう、これで他のものはこうなので、
1:03:39	要は、一つには、最小臨界質量を超えるようなもんはありませんよと。もう一つは、携帯、携帯考えても、家形状を考えてこのサイズで行った時に、
1:03:53	そこまでに至りませんよっていうことですね、というふうに理解したんですけどそれでよろしいですか。
1:04:00	はい。その通りです。今、もし、
1:04:04	ご説明いただいた方が、確認した内容がわかるような形で

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:04:10	修正板、修正なりいただければいいのかなと思います。
1:04:20	西郷はちょっと待てよと。
1:04:26	とってこれが郷低地と、
1:04:30	オダ。
1:04:31	これか。
1:04:33	でしょ。
1:04:36	これか。
1:04:37	最後は6章。
1:04:44	養殖の巻き上げの話は、前回の話でもう終わりですね。はい。すみません。時間を取られました
1:04:53	アノホデの方から確認したかったことは、以上です。
1:05:00	佐瀬アノちょっとお返しします。
1:05:07	はい。
1:05:09	規制庁サンゴですけれども、ですね。
1:05:13	資料のナンバー5と7については、
1:05:21	ヒアリングが必要かどうかは別にしてちょっと記載、ご検討をお願いします。
1:05:29	他にも、
1:05:32	規制庁西坂です。ちょっと戻ってしまって申し訳ありません。ナンバー3のご回答で幾つか
1:05:43	規制庁とJAEAさんの方でやりとりさせていただいたんですけど、こちらは結論としては、やっぱり書きぶり、表現ぶりってやっぱり何か補正とかされる予定でしょうか。それとも今のままでも、
1:05:54	こういう理解だということで、今回確認できたので、
1:05:58	申請書の記載は、
1:06:01	修正相手様立つと、
1:06:03	どちらの方で理解しておりますでしょうか。
1:06:14	大洗ホットラボかですけれどもナンバー3のところは25%町とかそういうところの記載ですよ。はい。そちらにつきましてはこちら今回
1:06:30	添付でお示した添付2のところでお示したところの内容をちょっと確認再度精査した後にこの今示してる1.2倍から1.36倍、20%から36%というところで、
1:06:45	確定した際には本文の方も20%に、一番、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:06:52	少ない数値の方の 20%に直して、それでちょっと計算結果もちょっと変えるようになるのかなというふうに考えております。
1:07:03	規制庁西坂です。その確認にどれくらい、例えば日数、時間って要しますか、なぜこういうことを私聞いているかと申しますと、
1:07:14	ちょっとそういう全般的な、ちょっと今回の申請案件、執行一律触れたいと思うんですけど。
1:07:21	やはり今回、JAさんから申請いただいて、
1:07:26	いわゆるこのヒアリングを実施する前でヒアリングを実施してからの回答いただくまで、そういったちょっと書き間の間隔というのが、ちょっと他の案件と比べても、やや開き過ぎなのかなというところを、
1:07:39	ちょっと部門内でも心配する声をちょっと聞いておりました、
1:07:43	ちょっとそこの進行ところがですね、何かまた著しく遅れるですとか、ちょっとそういった事態が出ますと。
1:07:51	また我々の方、例えば上の管理職の方から、
1:07:56	何かしらやっぱりちょっと
1:07:58	いわゆる指導みたいな、ちょっと入るちょっと日、恐れもありますので、
1:08:03	ちょっとそこの、いわゆる進め方といいたまいますか、そういうところがちょっとご留意いただければと思っておりますけど。
1:08:11	ちょっとそこは妥当な範囲で対応できるという理解で。
1:08:15	思っておりますでしょうか。
1:08:20	とか思っているんで。はい。アライホットラボです。そうですね
1:08:28	修正の内容につきましてもこちら、スピード感を持ちまして、早急に対応できるように、
1:08:35	していきたいと思っています。以上です。規制庁の井坂です。ご理解いただきありがとうございます。
1:08:50	私は、
1:08:52	規制庁のサンゴですけれども、JA側から何かございますか。
1:09:04	はい大洗ホットラボです。また再度疑義等がございましたら再度連絡いたします。今この場では特に、
1:09:14	ございません。
1:09:17	はい、わかりました。規制庁様です。
1:09:21	それではこれもちまして日本原子力研究開発機構等ヒアリングを終了いたします。
1:09:28	ありがとうございました。はい、ありがとうございました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。